

(1) 次のA～Jの項目について、あなたが現在到達していると考えるレベル段階に大きな○をつけてください。「レベル1」に至らない場合や未経験の場合は、準備レベル欄に○をつけてください。

レベル	1 受けとる力 瀬戸高卒のスタンダード	2 伝える力	3 つながる力	4 考える力	5 見つける力	6 より良くなるようにする力				
	A 聴く力 メモする力 ノートをとる力	B プレゼンテーション能力 コミュニケーション能力 ストーリー構成力	C 記述力	D 仲間とつながる 考えと考えをつなぐ	E 地域・大学とつながる 世界とつながる 発信する	F シンキングツール活用 論理的思考 課題解決力	G より良くするために 批判的に思考する 発想する	H 地域の課題を見つめる 自分の進路に関わる分野の 課題を見つめる	I 自分の強味を見つめる 自らの課題を見つめる 自信をつける	J 向上心 学ぶ意欲 価値を学ぶ
準備 レベル										
1	授業や講演会などの「聴く」時には、メモをとる。	発表の際、原稿を読んで伝える。	講演会や地域の方から聴いた話に対して感想を書く・メモをとる。	指示に従ってチームで話し合う。自分の役割を果たそうとする。自分からあいさつする。	オープンキャンパスや大学訪問に行く。地域の方の話を聴く会に参加する。	マップを使って考える。自分の意見を持つとうしている。	情報や他者の意見を理解し、受け入れる。	地域の方の話を聴く会に参加する。自分から声を出してあいさつする。	マップを用いて自分について表現する。自分の強みについて考える。 1年生	自分で学習や活動の計画を立てる。
2	授業や講演会など「聴く」時には、課題意識を持ってメモをとる。メモを参考にまとめることができる。	発表の際、原稿を見ないで、明らかな表情で、聞き手の目を見て、適切な表現で伝える。感想を言ったり、質問したりする。	講演会や地域の方から聴いた際のメモを参考に感想や意見・まとめを十分に書く。	チームメイトに自分の得た情報を伝える。「いいね！カード」にチームメイトの活躍を具体的に書く。	自分事としてオープンキャンパスや大学訪問に行く。地域の方の話から、地域の課題を聴いてメモをとる。	シンキングツール・5W1Hによってチームや自分の考えを確認し、自分の意見を持つ。	情報（新聞・書籍・インターネット）や他者の意見をうのみにせず、疑問を持つ。	地域の方の話から、地域の課題を聴いてメモをとり、質問する。敬語を使ってお礼を述べる。	チームの中で自分の役割を果たしながら、 自分の強みに気づく 。具体的に3つ言える。	他者の活動の様子を捉え、自らを客観的に振り返る。計画を手帳に書き込もうとする。
3	「自分の解決したい課題」であるという目的意識を持ってメモをとる。メモとメモをつないで解決しようとする。	明らかな表情で、相手の反応をみながら、分かりやすく伝える。他に対して理由を述べて批判的意見を言おうとする。	「ひたぶるタイム」の「始めの記述」に比べ「まごめの記述」には、具体的内容があり、深まりがある。	収集した情報を共有し、自分の考えとそれらを組み合わせることで地域の課題をまとめる。チームメイトと楽しみながら課題を解決しようとする。	自分が進みたい分野の未来を考えて、大学の先生の話や論文を参考に、深化させるために主体的に自分の考えとそれらを組み合わせることで地域の課題をまとめる情報を収集する。	場面に合ったシンキングツールの内容に比べて情報の内容を比較する。自分の主張の根拠が1つ言える。	よりよい解をもたらし、他者の意見と自分の考えを比較しながら批判的に思考しようとする。	聞き取り内容を深化させるために主体的に情報を収集する。地域の具体的な課題についてまとめ、校内で発表する。	「ひたぶるタイム」の学びを体験する中で、失敗したり、後悔したりして、その都度自分の課題を見つめる。	学習や活動を手帳に記してタイムマネジメントする。何が足りたのか課題に気づいている。
4	地域や自分の進路に関連した課題の解決を自分事として情報を収集しようとする。メモや情報をつないで解決を提案する。	プレゼンテーションにストーリーがある。巧みな話術(ジェスチャー・声の表現・アイコンタクト)で内容を伝え質問にも誠実に答える。他のチームの発表に対し、積極的な批評を言う。	「ひたぶるタイム」の「始めの記述」に比べ「まごめの記述」に論理性(理由・根拠・比較)と深まりがある。	目標達成のために、多様な他者の考えを吟味できる多角的な視点を持つ。チームに貢献している実感がある。チームをこえてクラスや学年にも働きかける。	見つけた課題の解決に際して、地域や企業の人々に自ら働きかけ(アポイントを取り、主旨を説明して協力を得る)良好な関係を築く。	因果関係を考えたり、比較したりして、チームで解決を考える。主張を支える理由や事実・具体例を自ら複数収集し、根拠を明らかにする。	よりよい解をもたらし、他者の考えと自分の考えの共通点や相違点を指摘しながら、対話する力がある。根拠を示して批判的に思考する。	自ら見つけた課題について現地に赴いて聴き取る。地域や企業の人々に自ら働きかけ、課題解決の提案を考へ、校内で発表する。	少し難しい課題や少し無理だと思える状況にもチームの中で協働して挑戦している。自分の言動や存在に自信を持つ。	2年生 自分の活動を必要に応じて修正し、コントロールする。活動を面白がったり、楽しんで行うことができる。
5	地域や自分の進路に関連した課題の解決を自分事とする。いろいろな情報を書きとめてポートフォリオ(ひたぶるノート)を作成する。	プレゼンテーションにストーリーがあり、聞き手の興味を引く。巧みな話術で内容を伝え、聞き手の質問に対して得意即ちの受け答えをする。他に対して根拠ある批評をし、納得させる。	主張が効果的に伝わるように理由や具体例など根拠を複数提示し、説得力やストーリーのある自己推薦文や小論文を書く。	チームのために、提案したり、行動計画を示したりする。活動全体を俯瞰する視点を持ち、自らのチームだけでなく、学校や地域全体の活動に対して、積極的に関わり貢献する。	校外の人々と交渉し、winwinな関係を構築する。魅力的な未来の社会を創造し、自らの言葉で校外に発信する。海外交流にも関心があり、参加する。	因果関係を考えたり、比較したりして、より実行可能性や効果の高い解決案を提案する。メリットやデメリットについて考え、価値ある提案をする。	客観的根拠に基づいて批判的、多角的に探究する。そこから新しい着想を得て、イノベーションにつながる新たな価値を創造できる。	「市民」的責任・興味から社会の課題について考える。解決の提案を考へ、校外で発表する。個性や適性を生かしながら社会を創る担い手でありたいと考える。	チームメイトへの支援ができるよう努める。自信を持ち、よりよい自己になるために諦めずに努力を継続させる。	「志」を持ち、さまざまな価値に触れ、幅広い体験を積み重ねて人格を磨く。
	感想・自分の成長・がんばったこと・印象的なこと・わくわくしたこと・アピールポイント・気づいた自分の強み・見つけた課題など									
1年 組 番	第1回									
氏名	第2回									
2年 組 番	第1回									
	第2回									
3年 組 番	第1回									